

## 平成 27 年度第 2 回大阪府立泉北高等学校学校協議会

1 日時：平成 27 年 10 月 29 日（木）14：20～17:00

2 会場：本校会議室

3 出席者 <委員>

山下 勝己氏（大阪府立大学工学域長）、泉川 敬介氏（堺市立若松台中学校校長）、中村 俊一氏（立志館ゼミナール館長）、池内 博一氏（大阪電気通信大学 専任講師）、兵野 寿江氏（泉北高校後援会）

4 挨拶 校長

- ・ 本日は平成 27 年度学校経営目標に対する取り組みの進捗状況と SSH 及び SGH 取り組みの報告をさせていただきます。忌憚のないご意見とご助言をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

5 施設見学及び ACT I 授業見学（録画）

（委員）高等学校では受動的な授業が多いと考えていたが、本日の授業見学では、学生たちが真面目に取り組み自分たちの意見をしっかり述べていた。大人でも難しいテーマを扱っていると感じた。施設については、改修してはどうかとを感じる箇所もあった。コンピューター等の施設がもっと整備できればよいのにと感じた。

（委員）あえて難しい問題の解決策を、多くの条件を設定し多彩な意見を求めていく授業はよかった。

（委員）命のことについて家庭で議論することはないので、様々な立場から考える機会が与えられて素晴らしい取り組みと思った。

（委員）大学生では意見を言うのが恥ずかしく、自分の意見を述べられない生徒が多い。長い時間一緒に過ごすホームルームクラスという場で議論する機会があるのは、大学や会社でのプレゼンテーションでも生きてくると思う。

（委員）教室内の机のレイアウトやグループの人数など意見が出やすいようによく考えられていた。どの生徒も議論に参加できており、自由に意見を言っている様子がよかった。テーマ設定もよかった。

6 事務局からの報告

①教育改革の現状について（教頭より）

- ・ 最近、「いじめ」について、授業アンケートについて、政治や選挙に関する副教材について調査依頼があった。現在の教育改革では関心の高い項目と思われる。
- ・ 現在の教育行政は第 2 期教育振興基本計画に基づいて行われており、特に国際競争力の向上や、知識詰め込み型ではなく自ら学ぶアクティブラーニングへのシフトに力を入れている。

- ・来年度の SGH 指定校数及び高校生留学促進事業の人数は微増である。また、プログラミング基礎ができる程度の ICT 能力をつけることを求められているプログラムの募集が始まった。

#### ②平成 27 年度学校経営計画及び学校評価に対する進捗状況について（教頭より）

- ・概ね予定通りに進捗している。

#### ③第 1 回授業アンケート結果

- ・例年通り、生徒の取り組みのうち予習復習は他の項目と比較すると低い傾向がある。しかし、授業中は集中して取り組んでいるという結果である。真面目に取り組んで入るが、授業内容に対する興味関心や知識技能の習得に対する評価はあまり高くない。この 2 つの結果の差が問題であるとする。
- ・教科書とノートで学習するのではなく、もう少し容易なプリントを使って授業を行ってほしいと生徒から要望があるが、生徒の発達段階を見極めて活用する方法を考えなければならない。
- ・教材の工夫や活用に関しては、経験年数の長い教員の評価が低い傾向にあり、これまでの自分のやり方について変更していないということがうかがわれる。

#### ④SGH の取り組みについて（SGH 研究主担）

- ・「グローバル基礎」では順調に課題研究を進めている。昨日の運営指導委員会で指摘された点に注意しながら、さらに研究を進める。
- ・「グローバル活動 I」では本校取組のキーワードである Sustainability に関連する多彩な活動を提供し、生徒が活躍している。
- ・2 月 17 日（水）に 1 年生国際文化科全員が参加する成果発表会を開催する予定である。
- ・来年度から「グローバル課題研究 I」が始まり、現在の 1 年生全員が課題研究に取り組むことになっている。
- ・来年度開催予定の国際理解フォーラムは地域の小中学校とも協力して実施できるよう準備を進めていきたい。
- ・SGH 専用のホームページが 11 月末には整備される予定で、取組内容の普及に努める。

#### ⑤SSH の取り組みについて（SSH 研究主担）

- ・予定通り取り組みが進んでいる。
- ・来月 19 日に 2 年生の課題研究中間発表会でポスターセッションを実施する。12 月には好評をいただいている泉北こども科学フェスティバルを開催する。
- ・3 年間の人材育成枠の重点校の最終年度となっており、報告集の出版や報告会を企画している。
- ・早くから SSH の指定を受けており来年度が最終年度となっている。来年度一年かけて再指定を申請するかを含めて、構想について考えていきたい。

#### ⑥課題検討委員会より報告（教頭より）

- ・職員会議で使う多くの資料の共有方法として、ICT 機器を活用することを検討している。
- ・授業アンケートの評価の高い教員が授業で気をつけていること等について話す機会を設けることを検討している。
- ・一足制や二足制について、安全性を確保できるように検討している。一足制への変更は、衛生上の問題などデメリットもあるが、安全性を第一に考えて検討していきたい。
- ・生徒手帳を本校では入学時のみ購入しているが、スマートフォンの普及により活用が減少してい

る。保護者の負担を考慮して、廃止する方向で検討している。

- ・中堅の先生から若手の先生方の良いところを年に数回発表してもらい、若手教員の育成につなげたい。
- ・勤務時間の長い先生方の健康を考慮して、業務量の削減を検討している。
- ・海外進学希望者に十分な情報を提供していく整備を行っている。

## 6 協議

### ・授業について

(委員) 授業アンケートに、自由な記述はあるのか。

→ (学校) あります。直接、該当教員に返却しています。

(委員) 政治や選挙については、みんながこのような授業を行うということか。

→ (学校) 学校によるが、社会科に取り入れるような事例もある。本校ではどのように進めていくかは検討中である。

(委員) 激しいいじめの事象はあるのか。

→ (学校) 今年度はいたずらのような事象は確認している。昨年度は SNS を利用したいじめのような状況がみられたので、生徒指導部と人権教育推進部が協力して指導することがあった。

(委員) 個別の教員のアンケート評価に対して年度末に反省をするような機会はあるのか。

→ (学校) そういった機会は設けていないが、管理職が複数回授業見学を行い助言することはある。

(委員) 「いじめ」の調査の内容はどのようなものか。

→ (学校) 学校でいじめがあったことがあるか、その生徒は転校したのか、などのような内容であった。

(委員) SNS にはいじめの事象が多く隠されていると思われる。最近の生徒たちの傾向であるが、傷つけるつもりはないが、個々人が抱えている劣等感などを刺激することがきっかけで発展することがみられる。他人に対してネガティブな内容を書くことをせず、ポジティブな内容を書く週間など取り入れても面白い。ホームルーム担任が毎日誰かを褒めるという取り組みをすると、教員も良いところを探すようになり、生徒も褒め言葉を受けることで学校が大変変わった事例がある。そういった取り組みを取り入れてはどうか。

→ (学校) SNS の講師を招いて倫理観については学習させているが、そのような取り組みを導入することを検討したい。

(委員) 携帯電話を持ってきてもよいのか。

→ (学校) 中学校では持ち込み禁止にしているところがほとんどで、高等学校でも原則として持ち込み禁止にしていることが多い。本校ではマナーを守って使用することになっている。

(委員) 携帯電話は必要でしょうか。

→ (学校) 授業で携帯電話を使うようなこともある。

(委員) 携帯電話を維持するのは高額であるし、必要ないのではないかと思う。

→ (学校) 必要ないとは思いますが、世の中の流れの中でそれを禁止するという事は難しいと感じている。使用方法については講師を招いて講習を行っている。

(委員) 学校経営目標が概ね達成できる状況なのかどうか。

→ (学校) 国際理解教育の充実の中で、TOEFL iBT スコアの達成目標が高いと考えているが、その他の目標は概ね達成できると考えている。第2回の授業アンケート結果を第1回から向上させるということも課題だと思う。

(委員) 大変特徴的な取り組みのある学校と思うが、文科省の事業指定がなくなった場合どのようにされるつもりなのか。

→ (学校) SGH 指定5年間でノウハウを多く得られると思うので、取り組みを残していきけるようにしていきたい。SSH も長い指定の期間に多くのノウハウが蓄積されているので、それを活かした学校にしていきたい。

(学校) キャリア教育「生きる力」について、日本銀行の金融教育支援校に応募する予定である。金融を通して、世界を見ることが出来る素養を身につけることができるような企画をしている。

## 7 委員長まとめ

日本が持っているレベルの高い考えをしっかりと意識し、現地の文化に溶け込みながら、その高い意識を伝えられるようにして欲しい。今のうちに、日本で得られる高い意識をしっかりと身につけて欲しい。例えば、公の場ではみんなが気持ち良く生きていけるように振る舞うのは大変よいことなので、日本人としての誇りや良さをしっかりと理解して海外に出て行って欲しい。そのような力が身に付くように SGH 等の取組を通じで教育活動をして欲しい。